



## 3-6 現地視察を終えた 参加者意見等

### <河道の状態>

- ・今は、中流部から下は平地化になり、砂が少ない。
- ・昔、草津川を砂川と呼んでいた。
- ・草津の河川は、自然型ブロックを多く使っていて、守山とは方向性が異なると感じた。
- ・河川内の管理が十分できていない(雑草等)。

### <ゴミ>

- ・不法投棄やポイ捨てゴミが多い。
- ・狼川は以前と比べてゴミが少なくなっている。
- ・河口のゴミがすごい(河口に限らないが)。

### <水質、水量>

- ・水質は思っていたよりは良さそうだった。
- ・昔に比べると水量が減っている(水質は良くなっている)。
- ・草津川の付け替えによって、川の周囲から水が出なくなり、魚が飼えなくなった。
- ・野洲川放水路ができて湧水がなくなり、井戸水がとまった。
- ・野洲川放水路、通水後の平地河川は、排水路でしかない。利水はほとんどない。
- ・野洲川交流会、小佐治地区が古琵琶湖層で生き物が非常に豊富(ホタルも)。
- ・河口を除いて魚が泳いでいた。

### <天井川について>

- ・どの川も天井川で、砂が大変多い川であった。
- ・天井川が改修されて少なくなっている。
- ・湖南地域は昔から穀倉地帯であり、川の流れを検地で決めたことによって、運ばれてくる砂を堤防として両脇に積み上げたことから、天井川になったのだと思う。
- ・平地化してから周辺利用できるまで数十年かかった。

### <人の暮らし、生業との関わり>

- ・土木工事をやっているところがたくさんある。
  - ・水、川と暮らしの関わりが深い。
  - ・湖南の河川はやはり生活に密着している。
  - ・人為的な影響が大きい(頭首工、地下水汲み上げ)。
  - ・事業所からの排水が源流となることが思っていたよりあった。
- 草津や甲賀で企業が川を拠点に活動していることが新鮮だった。
- ・天井川における自然の恵み、湧水などがあったにも関わらず、川を平地化する安全対策にはかなわないのか。
  - ・改修後の河川学習の利用の仕方。
  - ・守山の場合、山が無いので、自然の水の恵みが感じられず、ポンプアップの電気代のことを考えてしまう。
  - ・川に瀬切れが起きる。環境用水が充分でない。
  - ・企業やゴルフ場などでポンプアップされた地下水が源流となっている場合が多いのでは？
  - ・人の生活と河川が身近に感じられなかった。
  - ・山があっても、そこに住む住民の皆さんの上水道の料金が大変高いことに驚いた。

### <市民活動との関わり>

- ・市民による数多くの調査・取組。
- ・それぞれの川の歴史を知るきっかけになった(草津市の視察のとき)。
- ・草津でホテルを楽しむ会で、葉山川、金勝川などを見ているが、年に1~2回でも清掃し、きれいだなあと思って頂くことでゴミは少なくなるのでは。